

カツオノエボシとカツオノカンムリ

カツオノエボシとは…？

みなさんは「カツオノエボシ」という生き物をご存知ですか？ 青色をしたクラゲの仲間で、気胞体^{きほうたい}という浮き袋と長い触手をもっています（写真 1(a)(b)）。触手の長さは数十メートルになることもあり、刺されるととても危険です。このクラゲは外洋性で、普段は沖合に生息していますが、風向きによって沿岸に漂着することがあります。

県内でもカツオノエボシに刺される被害が毎年発生していて、多い年では 40 件の被害報告がありました。

とても強い毒をもち、刺されると激痛や腫れを引き起こします。また、繰り返し刺された場合、アナフィラキシーを発症する可能性もあるため注意が必要です。

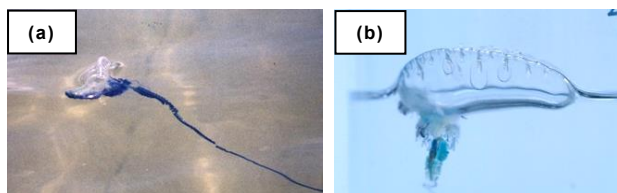


写真 1. (a)カツオノエボシ (b)カツオノエボシの気胞体

カツオノカンムリとは…？

カツオノエボシに似た「カツオノカンムリ」という生き物もあります。あまり聞きなれない名前の生き物ですが、青い円盤^{えんぱん}のような形をしたクラゲの仲間です（写真 2(a)）。

盤上には薄い帆をもち、それに風を受けて海面を漂^{たぐよ}います。このクラゲも外洋性ですが、時々沿岸に大量漂着することがあります（写真 2(b)）。

県内でも過去に大規模な漂着が確認されていて、最近では 2025 年 4 月に東村の海岸で大量漂着が確認されています。また、2023 年にも沖縄島北部から南部にかけて漂着情報が寄せられました。カツオノエボシと比べると被害報告はかなり少ないのですが、刺されるとチクチクと痛むという報告もあります¹⁾。

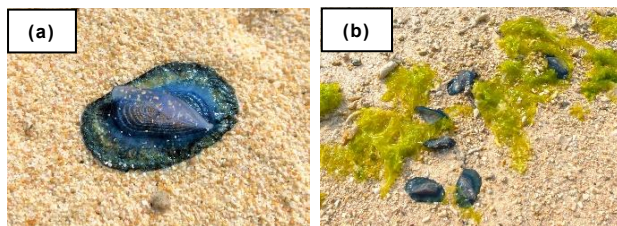


写真 2. (a)カツオノカンムリ (b)漂着したカツオノカンムリ

見つけても触らないで！

カツオノエボシもカツオノカンムリも、普段は沖合にいますが、風の強い日にはビーチに打ち上げられることがあります。見た目は綺麗でプラスチックのように見えますが、見つけても触らないよう注意しましょう。また、打ち上げられて死んでいても、刺胞^{しほう}（毒針入りのカプセル）が残っている場合があるので注意が必要です（写真 3(a)(b)）。大量漂着したクラゲを片付ける際は、素手で触らずに手袋やゴミ拾い用ハサミを使用して処理してください。

遊泳中に刺されないための対策として、クラゲ侵入防止ネットのあるビーチで、ネットの内側で泳ぐことをお勧めします。また、ラッシュガードやスパッツを着用して、肌の露出^{ろしゅつ}を抑えることも効果的です。

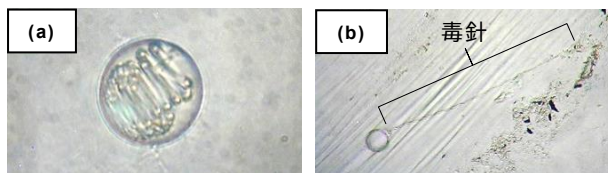


写真 3. (a)カツオノエボシの刺胞（未発射）

(b)カツオノエボシの刺胞から発射された毒針

もし刺されてしまったら…

もし、カツオノエボシやカツオノカンムリに刺されてしまった場合は、速やかに応急処置をし、医療機関を受診してください（図 1）。ハブクラゲの応急処置で使用する「酢」は、カツオノエボシとカツオノカンムリには使わず、代わりに海水で洗いましょう。もし刺された人が意識を失った場合は、ただちに心臓マッサージ^{しんぼうマッサージ}（心肺蘇生法^{しんはいそせいほう}）を開始してください。

応急処置（カツオノエボシとカツオノカンムリ）

- ① 海からすぐに上がる（患部をこすらない）
- ② 海水で触手を洗い流す（酢は使わない！）
- ③ 痛みがあれば、冷やしながら病院へ
※意識を失ったら、すぐに心肺蘇生を行う！



図 1. カツオノエボシとカツオノカンムリに刺された時の応急処置

参考資料

- 1) 水口博也・戸篠祥(2022). 世界で一番美しいクラゲ図鑑. 誠文堂新光社, p.103

【衛生科学班】